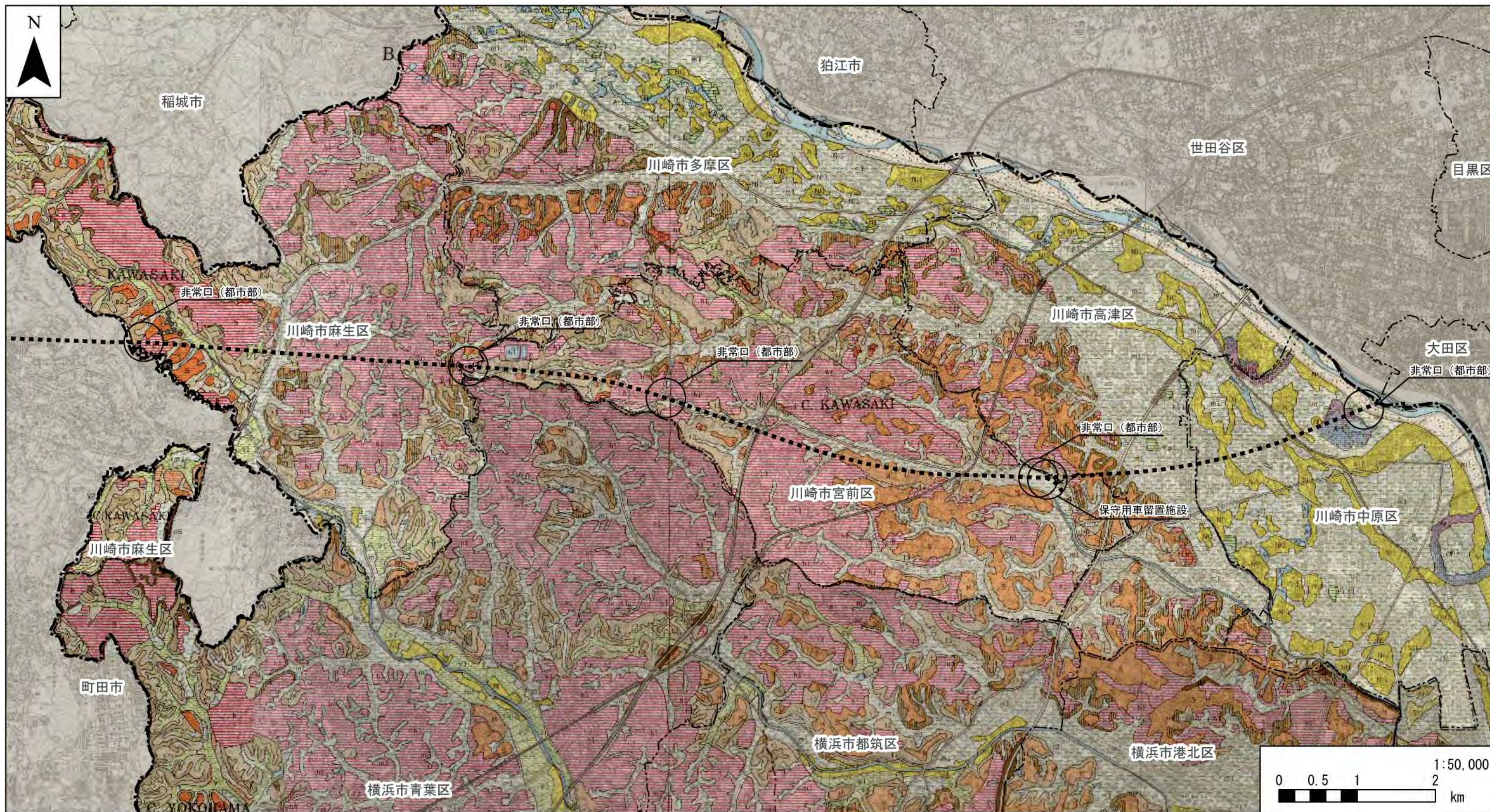


(2) 地象の状況

1) 地形の状況

対象事業実施区域及びその周囲の地形分類図を、図 3-1-1-2 に示す。

「県勢要覧 2012（平成 24 年度版）」（平成 25 年 3 月、神奈川県統計センター統計管理課）によると、対象事業実施区域及びその周囲が位置する神奈川県東部の丘陵、台地の地域は、北には標高 70～90 メートルの多摩丘陵、標高 40～50 メートルの下末吉台地があり、東京都に面して多摩川低地が続いている。

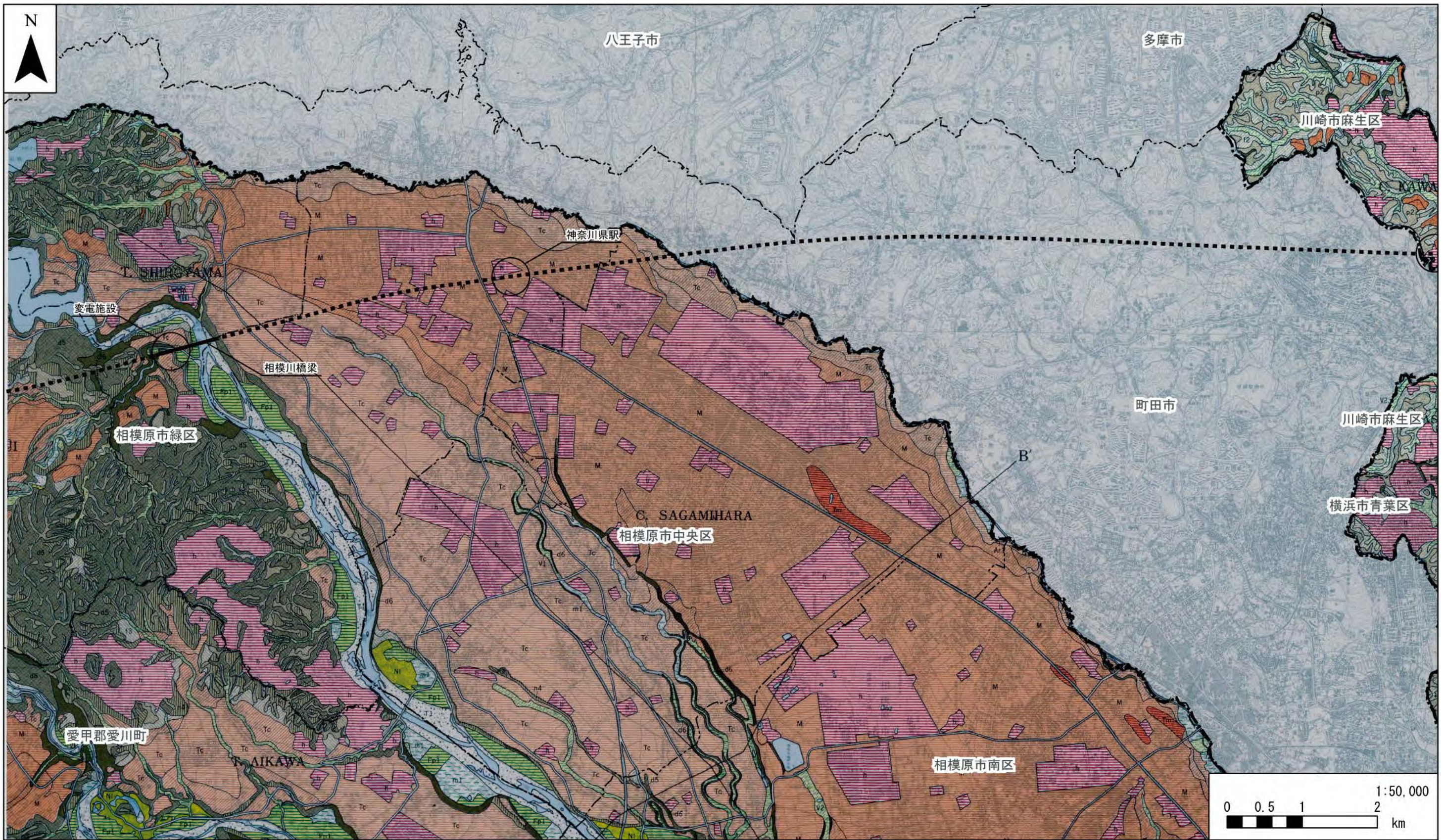


- 凡例
- 計画路線(トンネル部)
 - 計画路線(地上部)
 - 工事用道路
 - 都県境
 - 市区町村境

本図は、国土調査による「1/50,000土地分類基本調査 地形分類図(横浜・東京西南部・東京東南部・木更津)」(平成3年3月、神奈川県)、「同 地形分類図(八王子)」(平成元年3月、神奈川県)を使用し東海旅客鉄道株式会社が作成したものである。

注1. 凡例は、図3-1-1-2(3)に示す。

図3-1-1-2(1) 地形分類図



- 凡例
- 計画路線(トンネル部)
 - 計画路線(地上部)
 - 都県境
 - 市区町村境

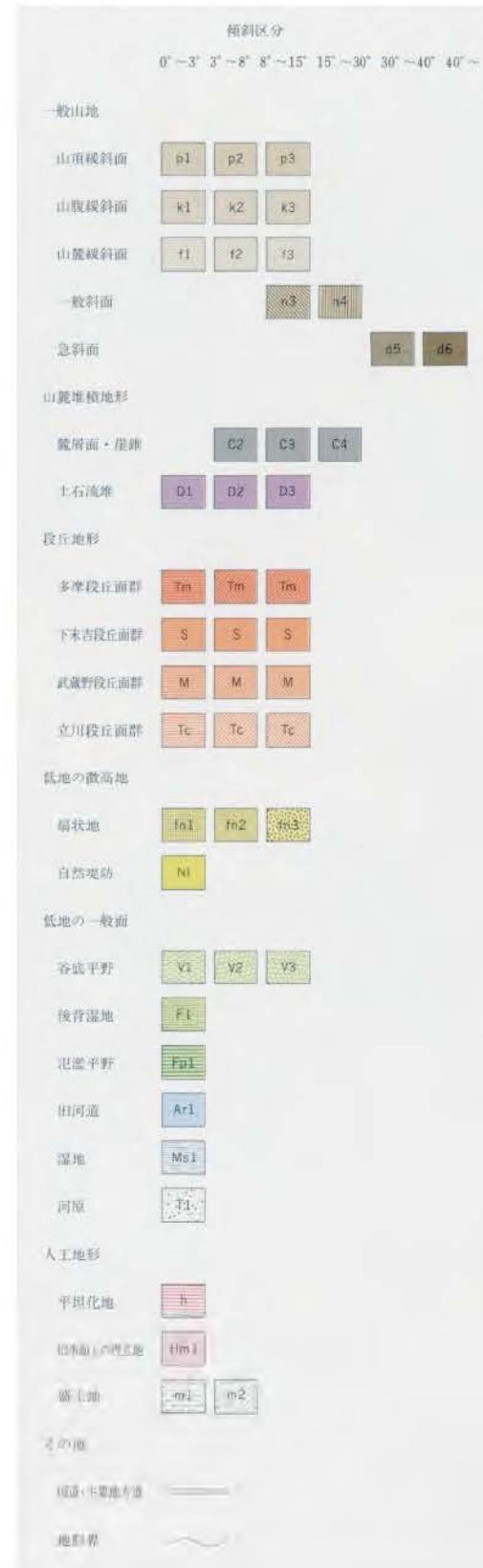
本図は、国土調査による「1/50,000土地分類基本調査 地形分類図(横浜・東京西南部・東京東南部・木更津)」(平成3年3月、神奈川県)、「同 地形分類図(八王子)」(平成元年3月、神奈川県)を使用し東海旅客鉄道株式会社が作成したものである。

注1. 凡例は、図3-1-1-2(3)に示す。

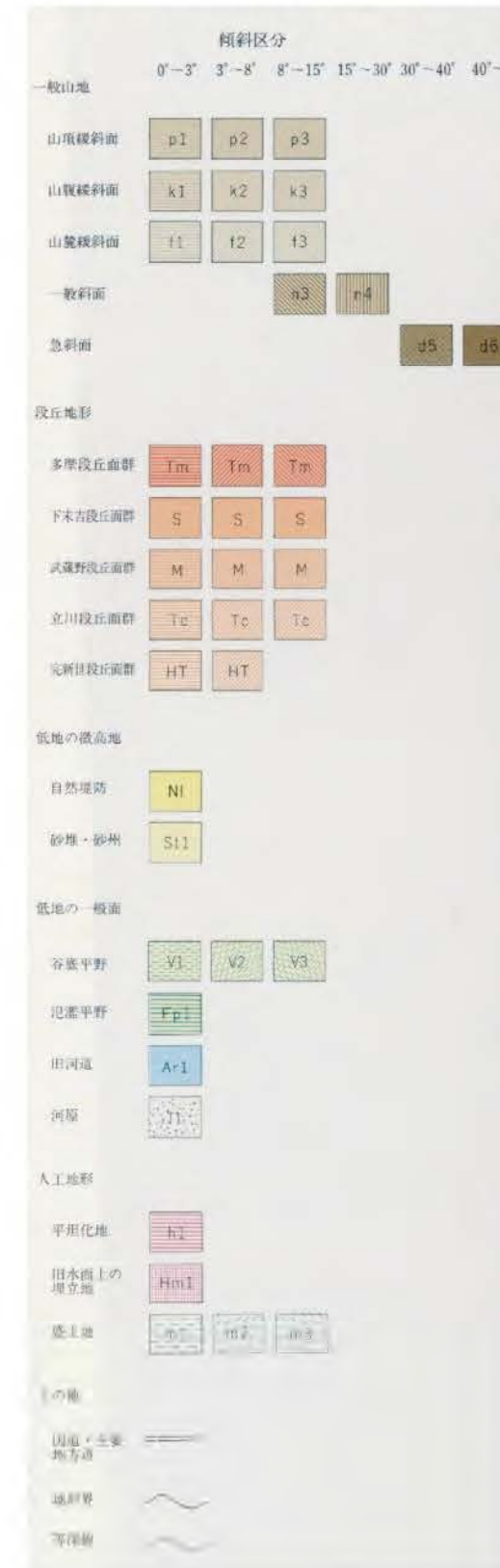
図3-1-1-2(2) 地形分類図



八王子



横浜・東京西南部・東京東南部・木更津



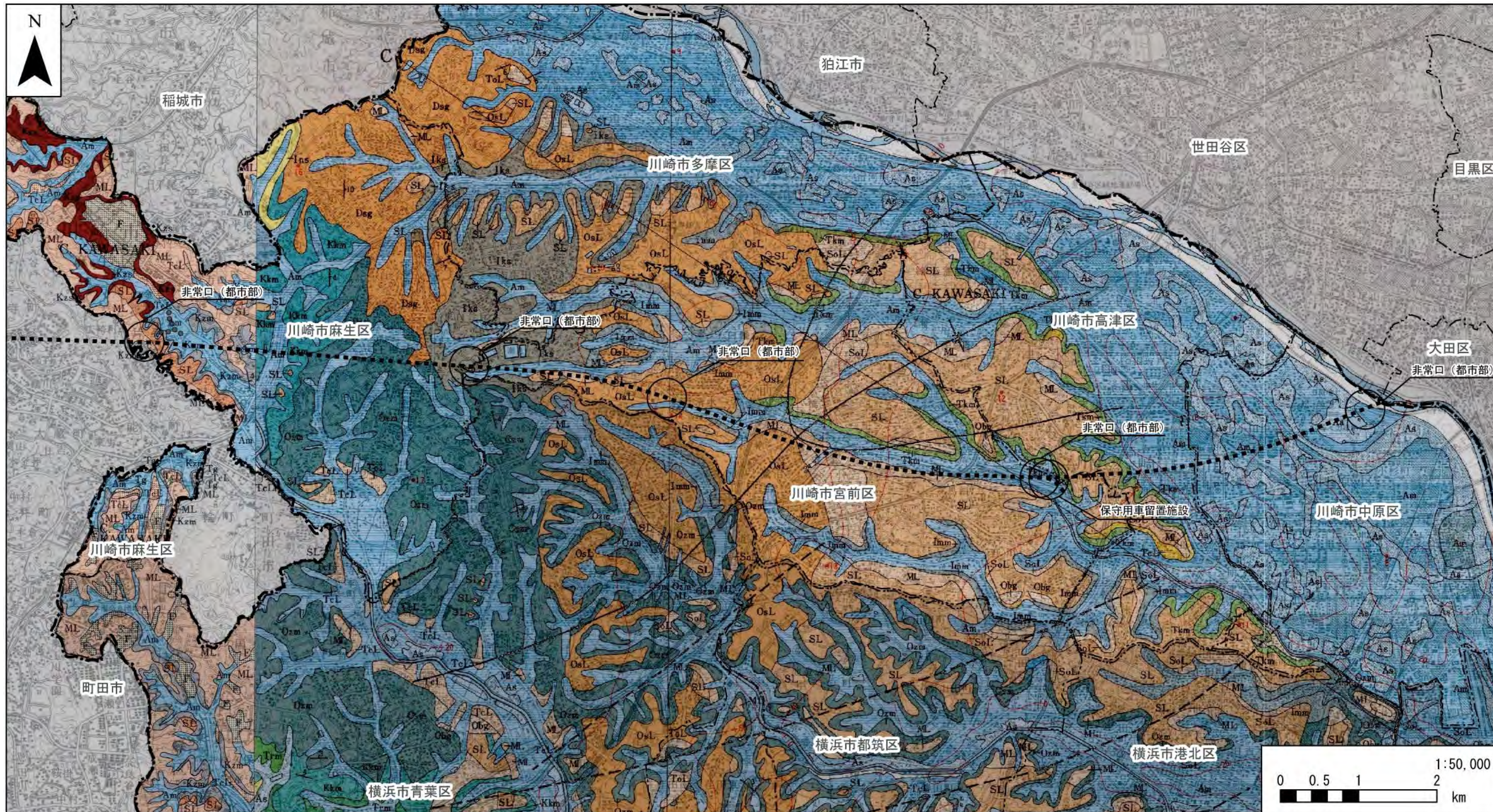
本図は、国土調査による「1/50,000土地分類基本調査 地形分類図（横浜・東京西南部・東京東南部・木更津）」（平成3年3月、神奈川県）、「同 地形分類図（八王子）」（平成元年3月、神奈川県）を使用し東海旅客鉄道株式会社が作成したものである。

図3-1-1-2(3) 地形分類図（凡例）

2) 地質の状況

対象事業実施区域及びその周囲の表層地質図を、図 3-1-1-3 に示す。

「県勢要覧 2012（平成 24 年度版）」（平成 25 年 3 月、神奈川県統計センター統計管理課）によると、対象事業実施区域及びその周囲が位置する神奈川県東部の地質は、三浦半島の中央に約 1,500 万年前（新第三紀の中頃）に堆積した葉山層群（主に泥岩と砂岩からなる）が、北西－南東の方向に狭い帯状に分布している。葉山層群の北側には、約 500 万～100 万年前（新第三紀末から第四紀）に堆積した地層である三浦層群から上総層群が北へ重なってゆき、横浜から多摩丘陵まで分布している。多摩丘陵の一部、下末吉台地には、約 30 万年前以後（第四紀中頃）に堆積した地層が分布し、その上を厚く関東ローム層が覆っている。

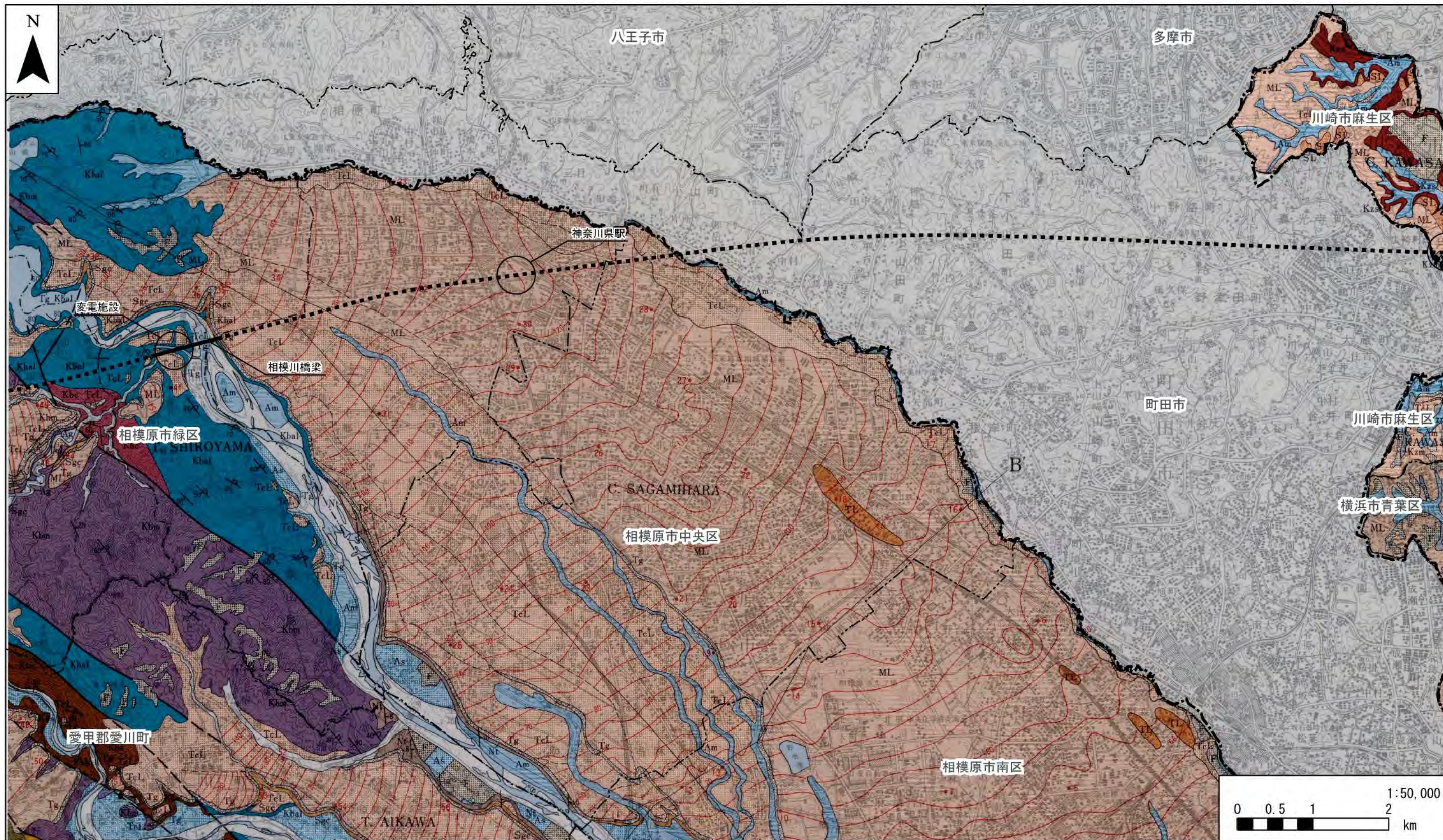


- 凡例
- 計画路線(トンネル部)
 - 計画路線(地上部)
 - 工事用道路
 - 都県境
 - 市区町村境

本図は、国土調査による「1/50,000土地分類基本調査 表層地質図(横浜・東京西南部・東京東南部・木更津)」(平成3年3月、神奈川県)、「同 表層地質図(八王子)」(平成元年3月、神奈川県)を使用し東海旅客鉄道株式会社が作成したものである。

注1. 凡例は、図3-1-1-3(3)に示す。

図3-1-1-3(1) 表層地質図



- 凡例**
- 計画路線(トンネル部)
 - 計画路線(地上部)
 - 都県境
 - 市区町村境

本図は、国土調査による「1/50,000土地分類基本調査 表層地質図(横浜・東京西南部・東京東南部・木更津)」(平成3年3月、神奈川県)、「同 表層地質図(八王子)」(平成元年3月、神奈川県)を使用し東海旅客鉄道株式会社が作成したものである。

注1. 凡例は、図3-1-1-3(3)に示す。

図3-1-1-3(2) 表層地質図



八王子

F	埋め立て土	埋 土			
D	礫、砂、泥	埋積堆積物			
	礫、砂、泥	河川堆積物			
Am	泥を主とし砂を含む	沖積層	沖積層	沖積層	沖積層
As	砂、礫を主とし泥を含む				
Ag	礫がら堆積物				
TeL	火山灰層(スコリアを含む)	立川ローム層	武蔵野新世	武蔵野新世	武蔵野新世
ML	火山灰層(軽石・スコリア層を挟む)	武蔵野ローム層			
Tr	礫、砂	新期段丘層	相模新世	相模新世	相模新世
SL	火山灰層(軽石・スコリア層を挟む)	下末古ローム層			
TL	火山灰層(軽石・スコリア層を挟む)	多摩ローム相当層	中・後期更新世	中・後期更新世	中・後期更新世
Sec	礫を主とし砂、泥岩を挟む				
Kzm	泥岩を主とし砂層を挟む	上総層群	前期更新世～後期更新世	前期更新世～後期更新世	前期更新世～後期更新世
Kzs	砂層を主とし泥岩を挟む				
Ni	泥岩・砂岩互層、礫岩	中津層	新世	新世	新世
Akc	礫岩、砂岩				
Akm	泥岩、砂岩を主とし礫岩を挟む	愛川層群	中新世	中新世	中新世
Akt	凝灰岩、火山礫岩を主とし凝灰質砂岩、泥岩を挟む				
Tzm	泥岩、凝灰質砂岩を主とし凝灰岩、火山角礫岩を挟む	丹波層群	中新世	中新世	中新世
Tzt	凝灰岩、凝灰角礫岩、火山礫凝灰岩、泥岩				
Klm	頁岩、千枚岩質頁岩を主とし砂岩を挟む	小仏層群	白堊紀～古第三紀	白堊紀～古第三紀	白堊紀～古第三紀
Kla	頁岩・千枚岩質頁岩・砂岩互層				
Kls	砂岩を主とし頁岩、千枚岩質頁岩を挟む				
Klc	礫 岩				

65	走向・傾斜
50	転倒層の走向・傾斜
	断 層
	推定断層
	ローム層の基底の等高線
● 12	ボーリング番号

横浜・東京西南部・
東京東南部・木更津

F	埋め立て土	埋 土			
As	泥を主とする	河川堆積物	沖積層	沖積層	沖積層
Am	泥を主とする	低沼地堆積物			
As	砂を主とする	自然堤防及び河川沖積物			
TeL	火山灰・礫及び砂	立川ローム層・立川礫層	武蔵野新世	武蔵野新世	武蔵野新世
ML	火山灰・礫及び砂	武蔵野ローム層・武蔵野礫層			
Obg	火山灰・礫及び砂	小塚台礫層・高砂層	相模新世	相模新世	相模新世
SL	火山灰・泥、砂及び礫	下末古ローム層・下末古礫層			
ToL	火山灰・泥、砂及び礫	土橋・土原ローム層・戸塚層、今見層	中・後期更新世	中・後期更新世	中・後期更新世
SoL	火山灰・泥、砂及び礫	早田ローム層、舞岡ローム層・藤見層、舞岡層			
OaL	火山灰・泥、砂及び礫	多摩ローム層・石上層	前期更新世～後期更新世	前期更新世～後期更新世	前期更新世～後期更新世
KiL	火山灰・泥、砂及び礫	山王台ローム層・土倉田層			
Bcm	泥、砂及び礫	平戸ローム層・耳塚の礫層	新世	新世	新世
Ngn	泥、砂及び礫	高砂層			
Hes	砂・泥層	高 層	中新世	中新世	中新世
Nkm	砂礫層	中津層			
Tkm	砂・泥互層	高砂層	白堊紀～古第三紀	白堊紀～古第三紀	白堊紀～古第三紀
Tmm	砂礫層	高砂層			
Iks	砂礫砂・泥互層	生田層	中新世	中新世	中新世
Dsg	砂及び礫	高砂層			
Oem	凝灰砂・武蔵層	三神層	中新世	中新世	中新世
Kem	泥灰及び砂泥岩	砂岩層			
Ims	砂	相模層	白堊紀～古第三紀	白堊紀～古第三紀	白堊紀～古第三紀
Tms	凝灰砂・泥互層	相模層			
Kms	砂・泥互層及び砂質泥岩	上皇川層	白堊紀～古第三紀	白堊紀～古第三紀	白堊紀～古第三紀
Kes	凝灰質砂岩及び砂岩	小塚層			
Ots	泥 岩	大塚層	白堊紀～古第三紀	白堊紀～古第三紀	白堊紀～古第三紀
Nts	凝灰質砂岩及び泥岩	野鳥層			
Uts	凝灰質砂岩	溝崎層・高砂層			

65	走向・傾斜
	断 層
	推定断層
	向斜軸
	背斜軸
● 15	ボーリングの位置番号
	沖積層の基底の等高線

本図は、国土調査による「1/50,000土地分類基本調査 表層地質図(横浜・東京西南部・東京東南部・木更津)」(平成3年3月、神奈川県)、「同 表層地質図(八王子)」(平成元年3月、神奈川県)を使用し東海旅客鉄道株式会社が作成したものである。

図3-1-1-3(3) 表層地質図(凡例)

3) 重要な地形及び地質の状況

対象事業実施区域及びその周囲の重要な地形及び地質を、図 3-1-1-4 に示す。

対象事業実施区域及びその周囲の「日本の地形レッドデータブック」に記載されている地形・地質を、表 3-1-1-3 に示す。

なお、対象事業実施区域及びその周囲には、「第 1 回自然環境保全基礎調査 神奈川県のおくれた自然図」（昭和 51 年、環境庁）に記載されているおくれた地形・地質・自然現象及び文化財保護法に規定する地形・地質に係る天然記念物は存在しない。

表 3-1-1-3 「日本の地形レッドデータブック」の地形・地質

行政区分	カテゴリー	保存すべき地形	地形の特性	選定 ^{注1} 基準	ランク ^{注2}	保全状況
川崎市多摩区	VII (その他の重要な地形)	多摩丘陵 おし沼切通し	砂礫層露頭	②	D	指定なし
川崎市麻生区	VII (その他の重要な地形)	三沢川上流の谷 津田景観	丘陵地の谷 (谷津田景観)	②④	C	指定なし

注1. 選定基準

- ①：日本の地形を代表する典型的かつ希少、貴重な地形。
- ②：①に準じ、地形学の教育上重要な地形もしくは地形学の研究の進展に伴って新たに注目したほうがよいと考えられる地形。
- ③：多数存在するが、なかでも典型的な形態を示し、保存することが望ましい地形。
- ④：動物や植物の生息地として重要な地形。

注2. ランク

- A：現在の保存状態がよく、今後もその継続が求められる地形。
- B：現時点で低強度の破壊を受けている地形。今後、破壊が継続されれば消滅が危惧される。
- C：現在著しく破壊されつつある地形。また、大規模開発計画などで破壊が危惧される地形。
- D：重要な地形でありながら、すでに破壊されて、現存しない地形。

資料：「日本の地形レッドデータブック 第 1 集 新装版-危機にある地形-」
(平成 12 年 8 月、小泉武栄、青木賢人)

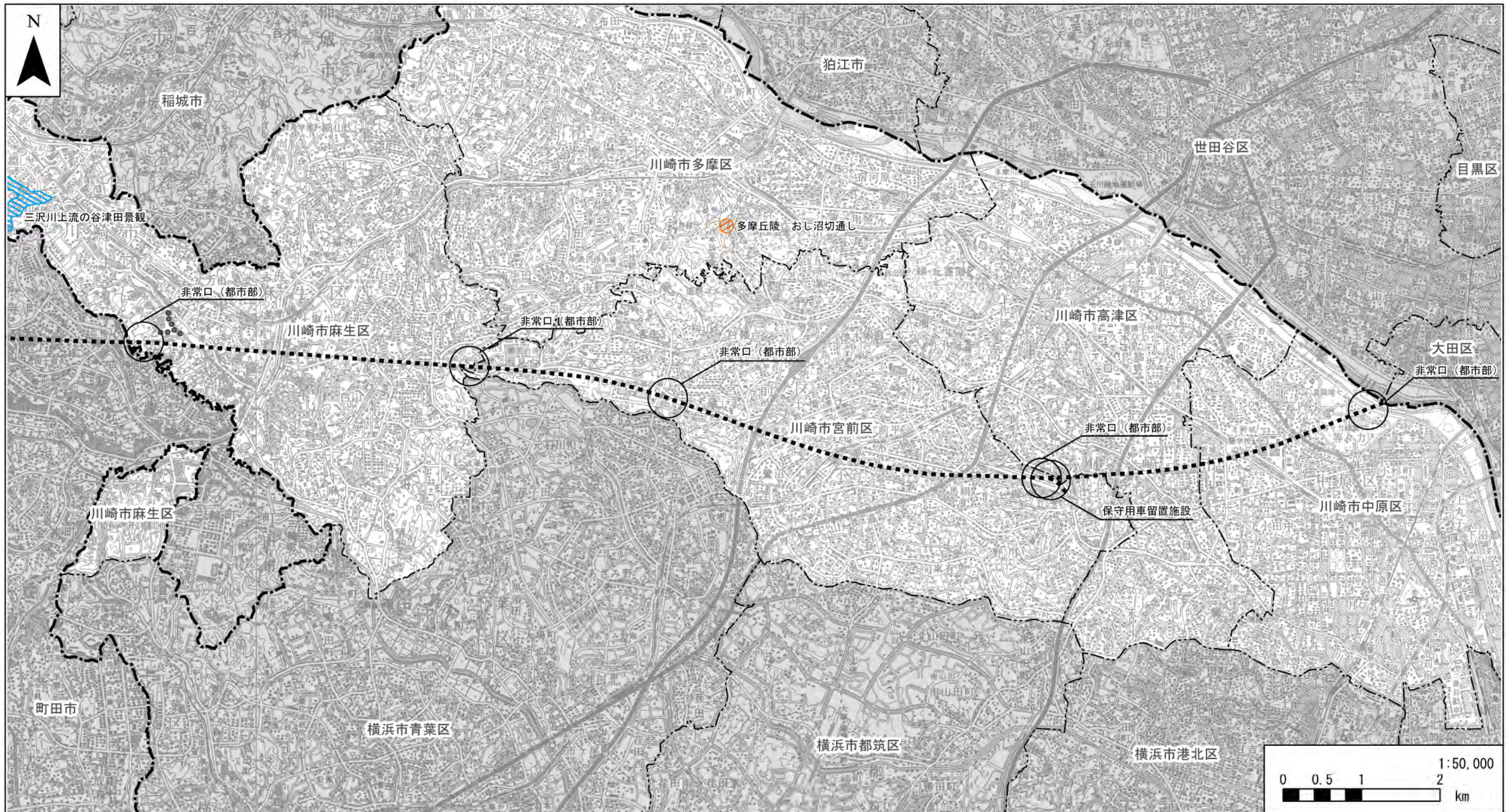
「日本の地形レッドデータブック 第 2 集 -保存すべき地形-」
(平成 14 年 3 月、小泉武栄、青木賢人)

4) 国立公園、国定公園、県立自然公園、県自然環境保全地域等の分布

対象事業実施区域及びその周囲には、国立公園、国定公園、県立自然公園、県自然環境保全地域は存在しない。

5) 鉱山の状況

対象事業実施区域及びその周囲には、鉱山は存在しない。

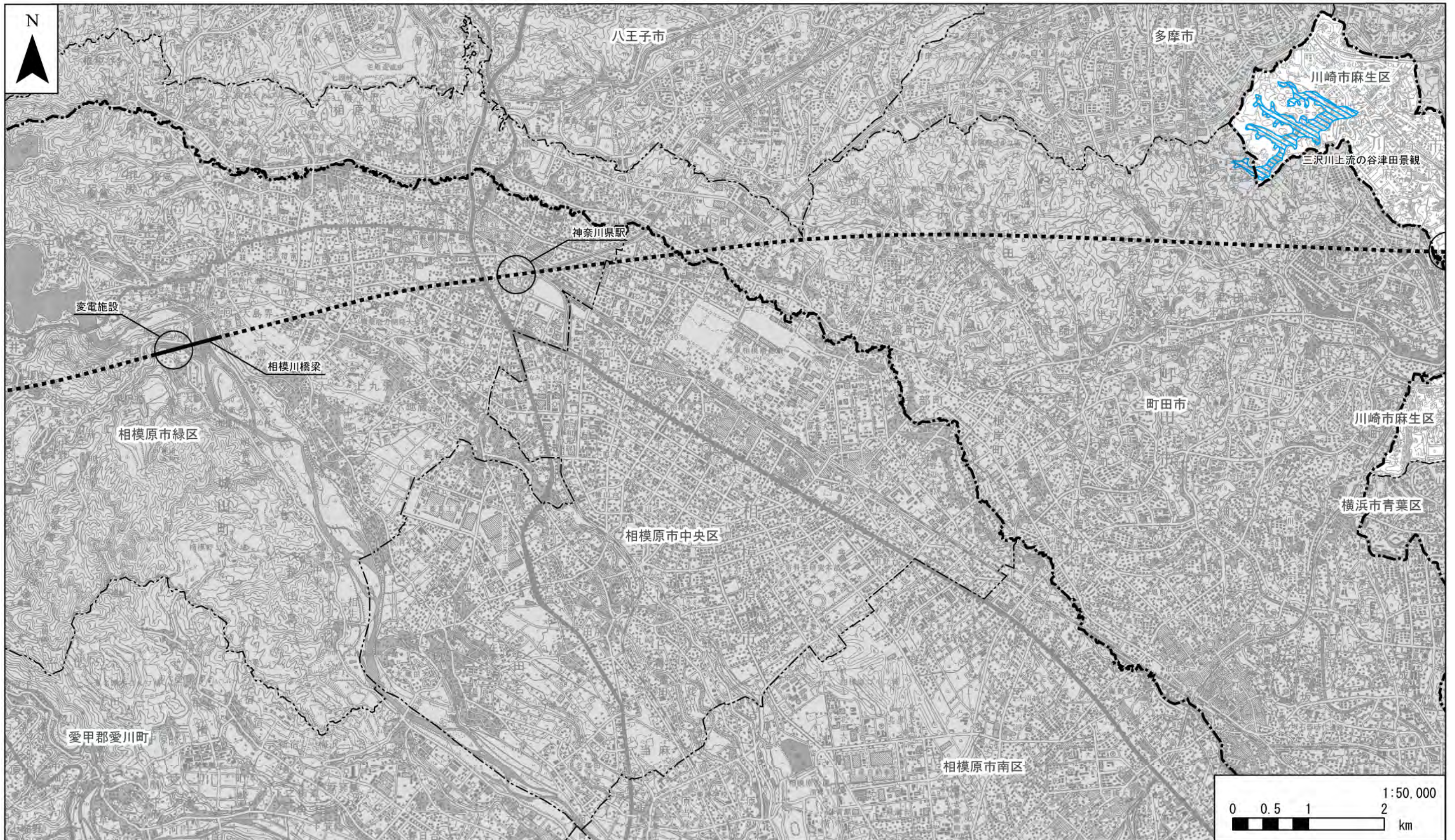


凡例

- 計画路線(トンネル部)
- 計画路線(地上部)
- 工事用道路
- 都県境
- 市区町村境
- 重要な地形地質(危機にある地形)
- 重要な地形地質(保存すべき地形)

資料：「日本の地形レッドデータブック 第1集 新装版-危機にある地形-」
 (平成12年8月、小泉武栄、青木賢人)
 「日本の地形レッドデータブック 第2集 -保存すべき地形-」
 (平成14年3月、小泉武栄、青木賢人)
 「20万分の1土地分類基本調査GISデータ」
 (平成25年6月現在、国土交通省国土政策局国土情報課ホームページ)

図3-1-1-4(1) 地形及び地質の状況図



- 凡例**
- 計画路線(トンネル部)
 - 計画路線(地上部)
 - 都県境
 - 市区町村境

- 重要な地形地質(危機にある地形)
- 重要な地形地質(保存すべき地形)

資料：「日本の地形レッドデータブック 第1集 新装版-危機にある地形-」
 (平成12年8月、小泉武栄、青木賢人)
 「日本の地形レッドデータブック 第2集 -保存すべき地形-」
 (平成14年3月、小泉武栄、青木賢人)
 「20万分の1土地分類基本調査GISデータ」
 (平成25年6月現在、国土交通省国土政策局国土情報課ホームページ)

図3-1-1-4(2) 地形及び地質の状況図